

平成4年
1月10日

第67号

発行 守 谷 町 議 会
編集 守 谷 町 議 会 事 務 局
TEL (0297)45-1111(内532)
茨城県北相馬郡守谷町
大字大柏950-1

もりやまち

議会だより

もくじ

- ①ページ 正副議長あいさつ
- ②ページ 各議員あいさつ
- ③ページ 請願・陳情執行状況



もちつき(北園保育所)

初春



21世紀に誰からも 愛されるまちづくりを

守谷町議会議長 大久保 隆 司

新年明けましておめでとうございます。町民の皆様方には、家族そろって元気に希望に満ちた新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、議員各位をはじめ、町民の皆様のご支援によりまして、茨城県町村議会議員会会長並びに関東町村議会議員会会長に就任させていただきました。厚くお礼申し上げます。

新年を迎え、改めてその職務の重責さを痛感しており、新たな決意のもと、町

民の信頼とご期待に応えるとともに、一都七県及び県下六十八町村の発展に最善の努力をいたす所存であります。

守谷町は、首都圏近郊都市として発展を続けており、まもなく人口も四万人に達しようとしております。全町民が期待しております常磐新線も整備主体となります首都圏新都市鉄道株式会社が昨年三月十五日に設立され、西暦二、〇〇〇年開業に向けて着実にスタートしました。常磐新線に伴うま

ちづくりは、今後の守谷町の発展を左右する最重要課題であります。地権者の皆さんはじめ、関係各位の深いご理解とご協力が不可欠であり、今後とも充分議論を重ね、よりよい計画づくりに努める必要があります。

また、熱帯雨林の保護や地球温暖化、二酸化窒素の排出規制等、地球環境問題が連日のように新聞紙上をにぎわしています。本年六月にはブラジルで地球サミット(国連環境開発会議、UNCED)の開催が予定さ

れており、一人ひとりが身近な環境の改善に努める必要があります。

例えば、「第二次ゴミ戦争」と言われておりますとおり、各自自治体におけるゴミ処理問題は重要課題であり、省資源、省エネルギーを図る上からも分別収集の徹底によるリサイクルやゴミをできるだけ少なくする施策が必要であります。

さらに、急速に伸展する人口の高齢化、国際化、高度情報化等に伴い、行政に対する住民のニーズも多種多様化しております。

このような時期にあたり、議員としての使命を再認識し、「住んでよかった」、「二度住んでみたい」と誰からも愛される「まち」の実現に議員一同力を合わせて努力してまいります。

町民の皆様の一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。



明るく住みよい 文化都市を目指して

守谷町議会議副議長 皆川 哲 男

平成四年の年頭にあたり、町民の皆様は新春のごあいさつを申し上げます。昨年中は、公私共に格別なるご支援とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、ソ連邦の解体や、南北朝鮮の同時国連加盟等、東西関係が大きく質的に変化し、世界各国が日本に寄せる期待は、益々高まりつつあります。このような中において国内では、金融・

証券業不祥事、政治改革関連法案やPKO法案等の問題が社会的関心を集めました。

守谷町においては、工業団地内優良企業の操業開始、けやき台中学校の開校、保健センターの建設着工等、十万都市に向けて着実に発展を続けております。

また、首都圏新都市鉄道株式会社が設立され、本町も株主として参画し、今後

ルートの設定作業等に入ることとなりました。常磐新線に伴うまちづくりは、多くの困難が予想されますが、是非とも成し遂げなければならぬ大事業であります。

幸い関係各位の熱心な検討が重ねられており、深く敬意を表する次第であります。

人口の高齢化、国際化、高度情報化時代を迎え、生活環境の整備、健康の増進、福祉の充実、産業の振興、

教育文化の向上及びコミュニティの形成等、取り組みなければならぬ課題が山積しております。

平成四年度は、中央図書館、仮称南守谷小学校及び心身障害者福祉センターの建設等が具体化するものと思われ、西暦二、〇〇〇年に向け、誰もが明るく住みよい豊かで快適な文化都市を目指し、本年も尚一層の努力をいたす所存であります。

また、議長の女房役として微力ながら議会運営の円滑化に努めてまいり所存であります。

最後に、平成四年が町民の皆様にとりましてよりよい年でありますようご祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

新年にあたり

抱負の一端を申し上げます



中田 孝太郎



新春を迎え皆様のご健勝を心からお慶び申し上げます。また、昨年中は格別のご厚情を賜り厚く御礼申し上げます。

今守谷町は、来る二十一世紀に向かって大きく変貌しようとしています。今が最も大変で大事な時であり

ます。急激な都市化に伴って、人々のものの見方、考え方が多様化している中で、議会人として新しい事態に的確な判断を下し、敏速に対応し、機動性の高い行動をしなければなりません。また、町民の皆様が町政に対して、どのような期待を持っているかを常に考え、町の発展と町民の皆様の繁栄に、若い力と行動力で尚一層努力をしてまいります。

今後ともご指導とご支援を心からお願ひ申し上げます。新年のあいさつといたします。

吉田 実



輝かしい新春を迎え、守谷町民の皆様のご清福とご繁栄を心からお慶び申し上げます。

昨年は都市化発展に伴う住環境の整備、高齢化社会への福祉の充実、教育施設の拡充、地域文化の保全、農業経営等、多岐にわたっ

て町政の抱える多くの課題に積極的に取り組んでまいりました。今年も引き続き生活に密着した住みやすい環境づくりを目指し、地域環境の整備、生活環境の改善、社会教育環境の充実、交通環境の整備等、新しい時代を展望した地域活動及び議会活動に懸命に邁進する決意でありますので、何卒絶大なるご支援をお願いいたします。本年も皆様に素晴らしい年でありまうようご祈念申し上げますと共に倍旧のご指導を伏してお願ひ申し上げます。ご挨拶といたします。

佐藤 弘子



明けましておめでとうございませう。昨年はソ連共産党が民主化により解体されました。日本共産党はこのことを諸手を挙げて歓迎しており、内外からも歴史的な出来事として評価されています。また戦後長期にわたって続いた対米従属と独

占資本自民党政権では国民の理解を得ることが困難となつていきました。自衛隊の海外派兵、米の輸入自由化、小選挙区制の導入、軍事費の突出等、政治の方向が危険な方向へ進んでおります。臨調行革では社会保障などが「自立・自助・努力」の方針で押し切られ、守谷町も人口が急増し、増収しているにもかかわらず、常磐新線絡みの開発優先政治が進められ、真の住民要求が後回しにされています。今こそ住民の声が届く町政にするため頑張ります。

栗橋 義三



謹んで新年のお慶びを申し上げます。昨年中は公私共に多大なる御支援、御指導を賜り誠にありがとうございます。

現在守谷町は、急激に都市化が進むとともに、数々の行政課題が山積しております。開発に伴う生活環境

の地域格差をはじめ、「小中学校の建設」「総合体育館や町民文化会館の建設」「北団地に警察官幹部派出所の設置」等、早期実現に向かって最大の努力を傾注してまいり所存でございます。水と緑を守り、二十一世紀に向かって、住みよい魅力ある守谷町建設のため、四十二歳の若さで行動力、皆様の期待と信頼にこたえてまいります。どうか本年も旧に倍し、御支援、御指導を賜りますようお願いいたします。

大久保 進



明けましておめでとうございませう。

今守谷町は、人口の急増とともに都市化が進み、さらに常磐新線計画等により本町をとりまく情勢は大きく変貌しようとしており、数々の重要な行政課題が浮上しております。

このような状況の中、町民が幸せになる町政、町民だれもが健康で安心して暮らせる福祉の町、心豊かでうるおいと生きがいにあふれた文化の町を目指し、山積する課題の解決を図っていかねければなりません。

私は今後とも、来るべき二十一世紀に向かって、活力ある文化都市「守谷」をつくるため、多くの人の出会いの中で培った経験と人とのつながりを充分活かしていき、皆様の期待にお応えしていく覚悟です。本年もよろしくお願ひいたします。

小川 一成



あけましておめでとうございませう。

いよいよ常磐新線が本格的に始動します。それに伴い守谷のまちづくりも新しい局面を迎えることになりまう。かつての手法では到底成し得ない未知への挑戦とも言えます。英知の限り

を尽くしてまちづくりに取り組むことが必要です。開発と自然保護の相反する命題に納得のいく答えを見出すべく、私は今後も町民の皆様と共に「人と自然にやさしい守谷のまちづくり」に全力で取り組む覚悟でございます。そして二十一世紀を生きる子供たちに「ここがふるさと」と誇れるまちをつくることを課せられた使命であると思ひます。

若い力と行動力で頑張りますので、御支援をお願いいたします。

椎名 七生



明けましておめでとうございませう。町民の皆様には希望に満ちた新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

常磐新線のルートも具体化しつつあります。守谷町の将来を決めるときでもあります。新線を柱とした街

並みづくりと道路網の整備が必要であります。人間が、人間社会で、人間らしく生きていくための社会教育、学校教育の中にどう取り入れていくのか、有限である環境資源を後世に残すためのリサイクルへの意識の向上、高齢化社会の福祉の問題等、やらなければならぬ問題が山積しております。私は、これらの課題に誠実さをもって積極的に取り組んでいきたいと願っております。皆様の温かいご支援とご理解を心からお願ひ申し上げます。

寺田 達



謹んで年頭の御祝詞を申し上げます。昨年中は格別のご懇情を賜り、厚くお礼申し上げます。お陰様にて私も今日に至るまで皆様方の暖かいご支援を唯一つの力として「明るく暮らしよい町づくり」を目指し努力を続けて参りました。

すでに本町は町制百周年を越え、過去の激動を乗り越えて歴史を残し、今日の繁栄をもたらしましたのは、町民各位の英知と努力によるものであります。今、年頭にあたり、先人の足跡に学び、思いを将来に託し、物心変わることなく町民優先の行政に推進する決意を心新たにし、厳しい内外の経済情勢の中で「政治に真実と正義」を求め、皆様方と共に明日の守谷町を拓いてまいり覚悟です。倍旧の御指導を賜りますことをお願い申し上げます。

西巻 健治



あけましておめでとうございませう。任期最後の年にあたり、皆様のご支援に心より感謝申し上げます。私が常に政治姿勢として心掛けて参りました事は、一つの事業が使う側の立場、即ち生活者の立場に立った事業かどうかを問い直すこと

ころにおいて参りました。地方行政の中でやもすればハードなものが多く多い中で、ゴミ問題、高齢化問題、教育問題、環境問題等、いずれもそこにソフト面での内容の充実に目を向けなければなりません。守谷町は今、大きく様変わりしようとしております。行政の隅々に温もりが、そして住んで安心を感じる、そんな街づくりを目指して頑張る所存でございます。今後とも尚一層のご支援ご指導をよろしくお願ひ申し上げます。

松本明子



明けましておめでとうございませう。昨年中は公私ともに大変お世話様になりました。ありがとうございます。宮内閣が誕生し、第一番目の大仕事は、公明党と一緒に、P・K・O法案を強行採決したことでした。太平洋戦争開始五十周年のこ

大久保 通



新年あけましておめでとうございませう。町民の皆様には希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。茨城県の玄関口、県南の拠点都市を目指してあります守谷町は、南北両団地をはじめ、みずき野地区への

須賀吉則



新年明けましておめでとうございませう。昨年は公私共に一方ならぬお世話様に相成りありがとうございました。改めて衷心よりお礼を申し上げます。さて、今世界は大きく激動しております。従来の価値観、あるいは秩序が否定

柳生 力



一九九二年の新春を迎え、皆様のご健勝を心からお喜び申し上げます。守谷町は首都圏近郊都市として発展を続けており、すが、常磐新線に伴うまちづくりをはじめ、生活環境の整備、健康の増進、産業の振興、教育文化の向上、

浅野 進



一九九二年の新春を迎え、町民の皆様から心から祝詞を申し上げます。町民の望みであった常磐新線の整備主体となる第三セクターが設立され、新しいまちづくりのスタートが切られました。本年はルートの細部検討が予定されて

松丸 照雄



迎春に当たり謹んで新年の御挨拶申し上げます。守谷町は二十一世紀に向かって基本的な町づくりが着々と進行しております。本年は、県南の核となる常磐新線の導入路線について細部にわたる検討が予定されており、それによって

豊島 清



明けましておめでとうございませう。年毎に充実を深めつつ平成も四年の春を迎えました。守谷町の将来を想定した十ヶ年構想の振興計画が着実に歩み始めました。常磐新線と町づくりと駅前づくり、新庁舎と新機構

倉持 和夫



平成四年の新春を迎え、皆様方のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。昨年は希望の常磐新線を整備する第三セクターが設立されました。守谷町においても、現在の守谷駅を中心とする区画整理事業の具現化に向けて、精力的な話

中村 力



明けましておめでとうございませう。皆様にはご家族おそろいで希望に満ちあふれた新年をお迎えのことと申します。現在守谷町は、常磐新線を核とした新しい街づくりをすすめております。そのような状況下において、私

と新行政、保健センターと総合体育館、生涯学習と図書館建設、工業団地と産業と農業整備、水と緑豊かな利根川左岸、福祉事業と施設づくり、その他、数多くの課題が山積しております。枚挙にいとまはありません。懸命に取り組み、解決のため全力をあげて頑張ります。そして毎日が生き甲斐のある年になります様、御祈念申し上げます。新年のごあいさついたします。

し合いがなされております。事業実現には幾多の困難が予想されますが、私は皆様方のご意見を拝聴しながら、この問題に積極的に取り組んで参ります。また、人口の高齢化、国際化、高度情報化等により行政需要も年々増加しております。このような中で更なる住民福祉の向上の為、尚一層の努力をして参る所存でありますので、本年もご支援、ご指導のほど、よろしく申し上げます。

は、真に十万人都市としてふさわしい街は、文化と潤いと優しさで備わったものでなければならぬと考えております。そのため私は、利用する人の立場にたって、立派な図書館と身体障害者福祉センターが完成される様全力をつくします。また、これからの守谷町を背負っていく若人のために、スポーツ施設の整備と国際交流をすすめてまいります。これまで同様皆様の声を町政に活かすため頑張りますので、温かいご支援とご協力をお願いいたします。

議 会 日 誌

9月10日	議会運営委員会
11日	第三回定例会本会議（一日目）
12日	第三回定例会本会議（二日目）
13日	教育厚生常任委員会
17日	建設常任委員会
19日	総務常任委員会
20日	産業経済常任委員会
21日	教育厚生常任委員会
10月1日	第三回定例会本会議（三日目）
7日	第三回定例会本会議（四日目）
18日	第三回定例会本会議（五日目）
19日	常磐新線地下方式建設陳情（県庁）
21日	常磐新線等守谷・伊奈・谷和原議会連絡協議会
28日	総合体育館等建設促進特別委員会
11月6日	北相馬郡三町親善ソフトボール大会
8日	関東町村議会議長会会長会議
11日	正副議長・委員長会議
14日	総合体育館等建設促進特別委員会
22日	常磐新線地下方式建設陳情（首都圏新都市鉄道株式会社）
25日	茨城県町村会・議長会町村行政近代化視察
27日	一市三町正副議長並びに委員長会総会
28日	議会運営委員会
12月6日	第六回臨時会
9日	東日本町村議会議長会会長会議
10日	第三十五回町村議会議長会全国大会
11日	兵庫県東播磨町議長会下水道視察来庁
12日	議会運営委員会
16日	第四回定例会本会議（一日目）
17日	第四回定例会本会議（二日目）
18日	総合体育館等建設促進特別委員会
19日	総務常任委員会
20日	産業経済常任委員会
21日	教育厚生常任委員会
22日	建設常任委員会
23日	教育厚生常任委員会
24日	産業経済常任委員会
25日	教育厚生常任委員会
26日	建設常任委員会
27日	教育厚生常任委員会
28日	産業経済常任委員会
29日	教育厚生常任委員会
30日	建設常任委員会
31日	教育厚生常任委員会

請願・陳情採択案件執行状況

採択年月日	件 名	提 出 者	執 行 状 況
平成 3 年 3 月 20 日 (第 1 回定例会)	稲戸井調節池総合開発事業計画に伴う崖地の整備及び道路拡幅に関する請願	守谷町大字高野345 会田 隆 氏ほか 25名	平成 3 年 4 月 23 日に建設省利根川上流工事事務所に出向き話し合いの結果、下記の通りとなった。 作業の順序としては、今後基本計画書の作成に着手し、県議会の承認を得ることとなる。要望については、計画書の中には具体的に明記されないが、住民の要望どおり実施する旨の確約を得る。(時期的には未定)
平成 3 年 6 月 21 日 (第 2 回定例会)	板戸井中坪の道路拡幅改良工事に関する請願	守谷町大字板戸井2101 橋本 勝 氏ほか 29名	道路等の境界立会いをし、現在図面作成中である。
〃	私立幼稚園に対する補助金の助成についての陳情	守谷町大字立沢1596 守谷町幼稚園協会 会長 鶴岡 勝 氏ほか 3253名	平成 3 年度に 4 歳児まで支給範囲を拡大し、5 歳児と同額の月額 1000 円を支給する。経営費補助については検討中である。
〃	守谷地先利根左岸河川敷利用によるゴルフ場・他の用地確保に関する要望 (一部採択)	守谷町大字高野1665 利根左岸開発守谷地先地権者協力 会会長 倉持 洋 氏	1 農業用地の確保 農地については、希望される面積が確保できるよう協議中である。 2 掘削残土の地元への利用 残土利用については、条件等があるが、地元への有効利用ができるよう取りまとめ、窓口を決め、利用量の調査等を行っていきたい。 3 高野下地区崖地崩落危険箇所の改修工事 崖地整備については、特に西根切地区より強い要望があるが、計画区域全域の崖地を美観を含め整備するよう協議中である。 4 買収価格の交渉 買収価格については、地権者の皆さんより事前説明会の開催など、交渉方法についての要望もあるため、地権者の意向を十分反映し、納得のできる価格が決定できるよう努力する。
平成 3 年 9 月 21 日 (第 3 回定例会)	首都圏新都市鉄道通過に関する請願	守谷町大字大柏519 大柏地区常磐新線対策協議会 会長 伯耆田 正 氏ほか 421名	新線の地下方式の要望については、今年第 3 回定例議会においても、議員提出議案で決議され、議会において茨城県知事及び首都圏新都市鉄道㈱へ陳情を行った。そのほかの内容については、新線計画が具体化された時点で会社と協議し対応していきたい。
〃	大木流作地内の築堤に関する請願	守谷町大字大木3173 斉藤富蔵 氏ほか 21名	平成 3 年 11 月 13 日建設省利根川上流工事事務所へ陳情を行った。



平成四年は申年です。サルは、桃太郎やサルカニ合戦にも登場する、おなじみの動物です。
ひとくちにサルといっても、体重や種類など、実にさまざまです。ゴリラなどは大きいものでは、体重約二百キロ以上もあります。一方、マダガスカルにいるミミゲコビトキツネザルは、体重四十五グラムほどです。また、大きなシッポをもち、木の上で生活する原猿(下等霊長類)のなかには、一見リスに似たものもあります。そのほか、オラウータンやチンパンジーなどのように、ヒトニザル(人似猿)といわれる、高等霊長類もいます。

日本に生息しているのは、ニホンザルです。顔とおしりの赤い、おなじみのサルです。ニホンザルの南限は鹿児島県の屋久島、北限は青森県の北端の下北半島です。沖縄県と北海道にはいません。

ニホンザルは、昔から日本人に親しまれてきました。昔話はもちろんですが、古

事記や日本書紀にも登場し、道案内をするサルタヒコノカミは、サルであるともいわれ、いまでは道祖神としてまつられています。

ことわざにも、サルにまつわるものがいろいろあります。だれでも知っているのは、「サルも木から落ちる」でしょう。これは、サルを木登りのベテランとしているわけですが、一方、「サルまね」「サル知恵」などになると、サルは笑いの扱いされています。

ところで最近、野生のニホンザルを見る機会が多くなりました。観光用に餌づけしたサルが人前に現れたり、開発で山のエサがなくなったために里に出て、ドライバーにエサをねだったりということが、多くなってきたようです。

サルを間近に見られるのは楽しいのですが、やはり野生動物と人間は、適当な距離をおいて共存するのが自然ではないでしょうか。サル年を機に、こんなことも考えてみませんか。

今年
は
申
年